

平成26年度第4回瑞浪市地域公共交通会議 議事録

- 日時 平成27年3月20日(金) 9時30分
- 場所 瑞浪市役所4階全員協議会室
- 出席者 勝 康弘委員、磯部 友彦委員、山本 博康委員(代理 石野栄一)
国島 英樹委員(代理 瀨瀬貴広)、土屋 公彦委員、生田 直人委員
山田 芳喜委員、山田 幹雄委員、門間 實委員(代理 成瀬洋一)
山田 和洋委員、橋本 清委員、板橋 仁晃委員、大山 理晴委員
伊藤 明芳委員、伊藤 正徳委員、遠藤 三知郎委員、木村 伸哉委員
【事務局】成瀬 篤、足立 寛聡、吉田 和史
- 欠席者 小川 英明委員、東川 猛委員、西脇 弘司委員

1. 開会

定刻となったため、平成26年度第4回瑞浪市地域公共交通会議を開会した。司会・進行を成瀬事務局長が行った。

2. 会長あいさつ

勝会長があいさつし、議長を磯部委員に指名した。

委員20名中17名の出席があったため、要綱第6条第2項の規定により、当交通会議が成立しましたことを報告した。また、議事録署名を平和コーポレーション株式会社 バス乗務員労働組合の橋本様に依頼した。

3. 協議事項

磯部委員が議長となり、議事を進行した。

(1) 瑞浪市生活交通ネットワーク計画(案)について

資料3に基づき事務局より説明し、次のとおり意見が出された。

- ・山田(芳)委員 P8のデマンド交通の車両はワンボックスカーということでよかったか。国のほうの補助制度ができたので、これの活用について、どうするのか伺いたい。また、運賃を値上げすると、利用者が逸そうするということがある。乗合バスの原価を計算するときには、3%の減少を見ているが、この計画では、輸送人員は変わらないということでやっているのか。
- 事務局 補助を受けるには、公共交通網形成計画と再編実施計画を作成する必要があるが、来年度中に瑞浪市として計画を策定するかどうか、検討していきたい。作成するという事になったら、国の補助を受けたい。運行経費算出の輸送人員は変わらないものとしている。ただし、デマンド交通については、今までコミュニティバスを使っていた人と、コミュ

ニティバスが通ってない地域の新たに利用する人を想定した。

→山田(芳)委員 市の負担があるので、経費試算は細かくした方がよいと思う。デマンドの利用者登録については「地域の75歳以上の方は全て市で登録する」という方法もあるのではないかと。わざわざ登録していただくこともないように思うがどうか。

→磯部委員 デマンドについては、予約が面倒であり中々慣れない。高齢者へのサポートが必要ではないか。

→事務局 これについては想定していなかったため、今後検討していきたい。

→磯部委員 まだまだ基本的な方針であり、枠組みを検討している段階なので、細かい部分は今後決めることになる。

・土屋委員 大湫にしても管内には免許を持っている人が多い。身体機能が衰えるので、免許を返納してほしい人もいるが、生活に必要で免許返納できない人もいる。自主返納してもらった方には、コミュニティバスの運賃免除までいかないでも、運賃を安くしていただくなど対応できないか。

→山田(幹)委員 タクシー協会では、経営の問題から運賃見直しの話が出ている。75歳以上の登録者に高齢者割引として1割引きしており、20年ほど前にできた制度であるが、高齢者が増えたため、廃止したいという声もある。経営者側の考え方では、1割引では利用者は増えないため、2割引が最低ラインと考えている。しかし、業者側では費用負担できないため、自治体で1割の負担してほしい。

コミュニティバス、デマンド交通の運賃に、これがわかるようにするかどうか、すなわちデマンドの料金に織り込み済みとするのか、注目したい。この辺の制度化を明確にすべきだと思っている。

→山田(芳)委員 デマンド交通の運賃は、子どもや高齢者、障がい者割引があるが、どういった割引をするのかは、この公共交通会議で決められる。しかし、市の費用負担が増えてくるので、それも含めて決める必要がある。

→事務局 大湫のデマンドは、利用者の費用負担が700円あり、更に地元は経費の3分の1を負担している。今回は、仮に500円で試算している。今までの経緯を考えると、安いところで設定できないかと考えている。割引制度については、まだ検討していないので、今後検討していきたい。

→勝委員 免許の自主返納については、今まで考えてなかったので参考にしたい。割引については、交通弱者の足の確保ということであり、子どもや高齢者を対象とするので、デマンド交通やコミュニティバスの運賃はかなり低額で設定しているつもりである。

さらに高齢者を割引するとなると半額くらいになってしまうので、その辺はよく考えないといけない。今のところ運賃設定が割引制度をいれた水準になっているように思っているので、割引制度はもっと後にしたいと思っている。

・山田(和)委員 デマンド交通は1日69人の利用者を想定している。1便平均3.8人となるが、0人の場合もあるので、1便あたり7人から8人を運ばないといけない。人口比率からしても1便あたり3.8人というのは、難しいと思う。その場合収入が減って、現行と変わらなくなる。

もう少し運賃額の幅を持ち、その中で500円を設定する必要がある。利用者が変わらない設定になっているのはリスクがある。この会議で運賃を設定するときには、こういうことを想像されているのか。

→山田(幹)委員 このままだと、市民の方々が運賃は300円か500円しかないと判断しかねない。幅広く記載し、どれに設定するかわからない、というようにしたがよい。

また、割引した場合の料金なども含めて試算すべき。500円と300円が同じ人数というのは、少し暴論かなと思う。300円だったら、もう少し乗ると思うが、民間のタクシーやバスには乗らなくなってしまうと思う。

→磯部委員 P8の詳細な資料を入れておく必要があるかどうか。あくまでも仮計算であり、本文に入れないということもできる。

→山田(幹)委員 やってみたいとわからないという世界になる。500円にしても、タクシーの利用が減ることは見えているので、業界としては諦めている。タクシー運賃の半額や3分の1になるので、業界としてはいくらで設定されても影響がある。公共交通として未整備のところに便が引かれるのはいいことだが、このようなことは汲み取っていただきたい。

→大山委員 住民としては、このような形でお願いしたい。

→勝委員 運賃については幅を出さないといけないので、パブリックコメントについてはその幅を出したい。タクシー業界の利用者減については、運行事業者をどうするかということで考えていきたい。デマンド交通を受けられた場合は行政が費用を負担するので、事業的には成り立っていくものだと思う。今回のパブリックコメントでは、同じ人数で試算しているのは良くない事であり、これありきになるのも怖いので、運賃の幅だけを出すことにしたい。

→山田(芳)委員 今後、地元に入って意見を聞く際に、どれだけの費用負担が可能かをヒアリングして決定していけば良いのではないかと。

→磯部委員 それでは、資料からは経費試算の部分を抜き、参考資料についても掲載しないということでまとめていただきたい。

議題1について、資料1の経費記載部分については修正を行うことで承認された。
協議事項は以上となったため、磯部委員は議長を降り、司会を成瀬事務局長に戻した。

4. 閉会

以上により、平成26年度第4回瑞浪市地域公共交通会議の議題等は終了したため、11時15分終了、閉会の辞をもって解散した。

平成27年3月25日

議事録署名者 橋本 清